

- 問1 江戸幕府が琉球使節を江戸へ参府させた目的や背景として、当時の外交や政治の仕組みから考えて最も適切な説明はどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 薩摩藩の支配から琉球王国を独立させ、幕府の直轄領として管理するための事務的な手続きを行うため。 | 2. キリスト教の布教を許可する代わりに、琉球を通じてヨーロッパの最新兵器を独占的に輸入しようとしたため。 | 3. 琉球王国を仲介役として、当時は国交が断絶していた清（中国）の皇帝に親書を届けるルートを確保するため。 | 4. 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。 |
|--|---|---|--|
- 問2 江戸時代の流通において、商業の中心地である大阪と巨大な消費地である江戸を結ぶ航路は非常に重要でした。この航路で、醤油や油、木綿、紙などの日用品を運ぶために用いられ、船の側面に竹を編んだ格子状の垣（柵）を設けていたことが名称の由来となっている船を選びなさい。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 北前船 | 2. 遣明船 | 3. 菱垣廻船 | 4. 樽廻船 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問3 19世紀における日本の総石高は約3021万石とされています。そのうち、江戸幕府が「直轄地」として直接支配していた領地（幕府領）の石高が占める割合として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 全国の総石高の約4分の3（約2250万石） | 2. 全国の総石高の半分以上（約1800万石） | 3. 全国の総石高の約4分の1（約723万石） | 4. 全国の総石高の約1パーセント（約33万石） |
|--------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
- 問4 江戸時代に伊能忠敬が作成した日本地図（大日本沿海輿地全図）の作成方法とその特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 全国の諸藩が幕府に提出した古い古地図を収集・整理し、それらをパズルのように繋ぎ合わせることで完成させた。 | 2. オランダから輸入された最新の世界地図を日本語に翻訳し、日本の位置関係を修正して作成された。 | 3. 幕府の軍艦を用いて海上から海岸線の形状を測定し、主に外国船の来航に備えるための防衛用地図として作成された。 | 4. 日本全国の海岸線を実際に歩き、器具を用いた測量と天体観測を組み合わせることで正確な形を描き出した。 |
|---|--|--|--|
- 問5 元禄文化が栄えた時期の、社会・経済の状況や人物の活動を説明した文として正しいものはどれか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 井伊弼弼が日米修好通商条約を結び、横浜などの港を開放したことで、海外の文化が急速に流入した。 | 2. 杉田玄白らがオランダ語の解剖書を翻訳して『解体新書』を出版し、医学や科学の発展に貢献した。 | 3. 葛飾北斎が「富嶽三十六景」を描き、風景画という新しいジャンルを確立して民衆の間に広めた。 | 4. 松尾芭蕉が各地を旅して『おくのほそ道』などの俳諧を大成させ、内面的な深みのある作品を残した。 |
|---|--|---|---|
- 問6 松平定信が行った寛政の改革において、都市へ流入した農民を村に帰そうとした「旧里帰農令」が出された主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|---|--|
| 1. 都市での商業を活性化させるために、不要な人員を削減して賃金の高騰を抑えるため | 2. 外国船の来航による軍事的脅威に農村に軍事的な防衛拠点を築かせるため | 3. 新しい特産物を栽培させることで、商人と連携した専売制度を全国に広めるため | 4. 荒廃した農村に労働力を戻して農業生産を回復させ、幕府の年貢収入を安定させるため |
|---|--------------------------------------|---|--|
- 問7 江戸時代後期の文化において、街道の風景を鮮やかな色彩と大胆な構図で描き、「東海道五十三次」などの代表作を残した浮世絵師は誰か。その人物名として正しいものを、他の著名な浮世絵師と比較して選びなさい。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 歌川広重 | 2. 菱川師宣 | 3. 喜多川歌麿 | 4. 葛飾北斎 |
|---------|---------|----------|---------|
- 問8 江戸時代の三大改革が行われた共通の背景と、それぞれの改革が目指した主な目的についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。 | 2. 外国船の来航による軍事的脅威に対抗するため、西洋の軍事技術の導入と開国を目指した。 | 3. 商業資本の成長を抑えるため、全ての特権的な商人を追放し、自給自足の経済へ戻すことを目指した。 | 4. 天皇の権威が高まったことを受け、朝廷と協力して政治を行う公武合体の体制を築くことを目指した。 |
|--|--|---|---|
- 問9 徳川吉宗は、裁判の公平性を高めるとともに迅速に処理を行うため、判例を整理して裁判の基準となる法典を制定しました。この法典の名称を次の中から選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|-----------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 禁中並公家諸法度 | 3. 公事方御定書 | 4. 武家諸法度 |
|----------|-------------|-----------|----------|
- 問10 江戸時代は、それ以前の戦国時代などと比較して「大きな戦乱のない世」と評されます。約260年という長期間にわたって平和が保たれた背景として、幕府が行った統治の仕組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
| 1. 武力による領土拡大を奨励し、諸大名を競わせることで勢力の均衡を保った | 2. 実力のある者が上の者を倒す下剋上の風潮を認め、社会の活性化を図った | 3. 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した | 4. 民衆が自ら政治を行う権利を全面的に認め、合議制による全国統治を展開した |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|--|
- 問11 17世紀前半の江戸幕府において、キリスト教の広まりを防ぎながら海外との貿易を継続・管理するために、長崎の港内に建設された人工島の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1. 出島 | 2. 博多 | 3. 堺 | 4. 平戸 |
|-------|-------|------|-------|
- 問12 武家社会で定められた御成敗式目と公事方御定書の特徴について説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 御成敗式目は天皇や公家の権力を強める目的で制定され、公事方御定書は外国との貿易を規制するために定められた。 | 2. 御成敗式目は江戸幕府の第8代将軍が制定し、公事方御定書は鎌倉幕府の執権である北条泰時が制定した。 | 3. 御成敗式目は唐の法律をそのまま模範にして制定され、公事方御定書は戦国大名が領内を独自に支配するために定められた。 | 4. 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。 |
|--|---|---|---|
- 問13 江戸幕府が定めた「武士が守るべき法令」の中で規定された、大名が一年おきに江戸と領地を往復する制度（参勤交代）について、幕府がこの制度を義務付けた主な目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------|
| 1. 大名を定期的に江戸へ集め、幕府の重要な政策について直接議論を行うため | 2. 五街道や宿場を整備することで、全国的な商業と物資の流通を促進させるため | 3. 多額の費用を負担させて大名の経済力をそぎ、幕府に対する反乱の力を奪うため | 4. 江戸の進んだ文化を地方へ広め、全国の水準を均一にするため |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 異国風の装束をまとった使節を江戸に向かわせることで、将軍の権威が海外にまで及んでいることを内外に示すため。	幕府は、琉球使節に対してあえて中国風の独自の服装を維持させたまま江戸まで行進させました。これにより、将軍が異国の王からも敬われる存在であることを民衆や諸大名に見せつけ、幕府の権力を正当化・強化する演出を行いました。
問2	答え 3 菱垣廻船	江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、各地の物資が集まる商業の中心地でした。そこから幕府のある江戸へ物資を運ぶために「南海路」と呼ばれる航路が整備されました。菱垣廻船は、船の側面に菱形の模様に編んだ竹垣があることからその名が付き、主に日用品を大量に輸送していました。一方、樽廻船は酒を専門に運ぶ船として、菱垣廻船よりも後に登場し、速度が速かったため後に主流となりました。
問3	答え 3 全国の総石高の約4分の1（約723万石）	江戸幕府が直接支配した土地は「幕府領（または天領）」と呼ばれ、その石高は全国の約24%にあたる約700万石強でした。これに対し、全国の約75%（約2250万石）は大名が支配する領地（藩など）であり、寺社領や天皇・公家領の割合は合計しても2%に満たない極めてわずかなものでした。幕府はこの約4分の1の石高に加え、主要な都市や鉱山を直轄地として押さえることで、強力な権力を維持しました。
問4	答え 4 日本全国の海岸線を実際に歩き、器具を用いた測量と天体観測を組み合わせることで正確な形を描き出した。	伊能忠敬は「導線法（歩いた距離と方位を記録する方法）」と、星の高度から緯度を算出する「天体観測」を併用する手法を用いました。実際に自分の足で全国を歩き通すという膨大な時間と労力をかけた結果、それまでの概念的な地図とは一線を画す、日本列島の正確な輪郭を捉えた地図が完成しました。この地図は後に訪れたイギリスなどの欧米諸国も、その正確さに驚いたと伝えられています。
問5	答え 4 松尾芭蕉が各地を旅して『おくのほそ道』などの俳諧を大成させ、内面的な深みのある作品を残した。	松尾芭蕉は元禄文化を代表する人物の一人で、従来の俳諧を芸術性の高い文学へと高めました。他の選択肢は、江戸時代後期の化政文化（葛飾北斎）、宝暦・天明期（杉田玄白）、あるいは幕末（井伊直弼）の出来事であり、時期や文化圏が異なります。
問6	答え 4 荒廃した農村に労働力を戻して農業生産を回復させ、幕府の年貢収入を安定させるため	天明の飢饉によって多くの農民が生活に困り、農村を離れて江戸などの都市へ流入したことで、農村は荒廃し幕府の年貢収入が激減しました。定信はこの状況を打開するため、農民に資金を与えて帰村を促す「旧里帰農令」を出し、農業人口を確保することで幕府の経済基盤である年貢収入の回復を狙いました。これは、商業重視だった田沼意次の時代に生じた社会の歪みを正そうとする動きでもありました。
問7	答え 1 歌川広重	江戸時代後期の化政文化期には、庶民の旅への関心の高まりを背景に、風景画という新しいジャンルの浮世絵が確立されました。歌川広重は、宿場町の風景を描いた「東海道五十三次」で一躍人気となり、叙情的な風景描写で知られています。葛飾北斎も風景画で有名ですが、代表作は富士山を描いた「富嶽三十六景」です。菱川師宣は江戸時代初期に浮世絵の基礎を築いた人物、喜多川歌麿は江戸時代後期に美人画で活躍した人物です。
問8	答え 1 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。	江戸時代の三大改革（享保・寛政・天保）は、いずれも貨幣経済の浸透による武士の困窮や、冷害などの災害による農村の荒廃、それに伴う幕府財政の悪化という共通の課題に直面していました。そのため、支出の抑制（質素儉約）や収入の安定（年貢の確保・増収）を共通の目的として、幕府の権威を再構築しようとしたものです。
問9	答え 3 公事方御定書	それまでの裁判は担当者の裁量に任される部分が大きかったのですが、吉宗は「公事方御定書」を定めることで、過去の判例に基づいた統一的な司法判断ができる仕組みを整えました。
問10	答え 3 身分制度を固定し、幕府と藩が土地と人々を厳格に支配する幕藩体制を確立した	徳川家康が江戸幕府を開いて以降、幕府は「武家諸法度」によって大名を統制し、厳しい身分制度を敷くことで社会を安定させました。このように幕府と各藩が土地と民衆を二重に支配する「幕藩体制」が構築されたことで、中世のような武力による勢力争いが鎮まり、長期間にわたる平和な社会が実現しました。
問11	答え 1 出島	江戸幕府は、1634年から長崎に「出島」という扇形の人工島を築きました。当初はポルトガル人を収容する目的で作られましたが、ポルトガル人の来航が禁止された後は、平戸にあったオランダ商館がこの島に移されました。これにより、幕府は長崎を唯一の窓口としてオランダや中国との貿易を統制しました。
問12	答え 4 御成敗式目は武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定め、公事方御定書は江戸幕府の裁判の基準を明確にするために定められた。	御成敗式目は北条泰時が武士社会の道理や慣習をもとに定めた鎌倉幕府の裁判基準です。公事方御定書は徳川吉宗の時代に公判や刑罰の基準を統一・明確化するために定められました。
問13	答え 3 多額の費用を負担させて大名の経済力をそぎ、幕府に対する反乱の力を奪うため	三代将軍徳川家光によって確立された参勤交代は、大名に多額の旅費や江戸での滞在費を負担させることで、軍事行動に必要な資金を蓄えさせないようにする狙いがありました。また、大名の妻子を人質として江戸に住まわせることで、幕府への忠誠を強制する政治的な仕組みでもありました。